

最高裁秘書第1811号

平成29年4月19日

林弘法律事務所

弁護士 山中 理 司 様

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高 橋 滋

理由説明書の写しについて（送付）

下記の諮問について，最高裁判所から当委員会に提出された理由説明書の写しを別添のとおり送付します。

記

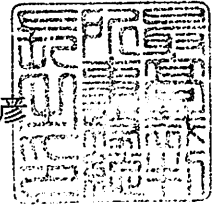
諮問番号 平成29年度（最情）諮問第10号

（担当）秘書課文書開示第一係 電話03-3264-8330（直通）

平成29年4月17日

情報公開・個人情報保護審査委員会 御中

最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦



理由説明書

下記1の諮問について、下記2のとおり理由を説明します。

記

1 諮問日等

(1) 諮問日

平成29年4月17日

(2) 諮問の要旨

苦情申出人は、最高裁判所がした不開示の判断に対し、司法研修所いずみ寮の入寮及び退寮に関する、司法研修所内部の事務手続が書いてある文書（最新版）が本当に存在しないかどうか不明であるから、この点を改めて確かめてもらう旨主張しているが、当該判断は相当であると考える。

2 理由

(1) 開示申出の内容

司法研修所いずみ寮の入寮及び退寮に関する、司法研修所内部の事務手続が書いてある文書（最新版）

(2) 原判断機関としての最高裁判所の判断内容

最高裁判所は、(1)の開示の申出に対し、平成29年2月24日付けで不開示の判断（以下「原判断」という。）を行った。

(3) 最高裁判所の考え方及びその理由

ア 本件申出に係る「司法研修所いずみ寮の入寮及び退寮に関する、司法研修所内部の事務手続が書いてある文書」は作成又は取得していない。

司法研修所いずみ寮の入寮及び退寮に関する文書としては、①平成28年12月1日付け総務課寮務係「入寮に際しての注意事項」及び②平成28年12月8日付け司法研修所事務局総務課長事務連絡「寮の退寮手続等について」が存在する。しかし、これらの文書は司法修習生に向けた文書であり、本件開示申出内容の「司法研修所内部の事務手続」を定めた文書ではない。

なお、司法研修所におけるいずみ寮の入寮及び退寮の事務手続は、①及び②の文書を参考に行っており、これら以外の書面を作成していない。

イ よって、申出に係る文書を不開示とした原判断は相当である。